

日本でも深刻化する“貧困” 今こそ目を向けて

SDGs特集

貧困

×

SDGs

第12回

持続可能な社会の実現を目指して、SDGsが掲げる17のゴールには、「貧困」や「飢餓」など、人の貧しさに関わるキーワードが見られます。普段は多くの人々が不自由なく暮らしているように感じる日本ですが、さまざまな角度から見つめてみると、貧困という問題も他人事ではないかもしれません。

1日約2000円で暮らす「絶対的貧困」

日本の隠れた社会課題「相対的貧困」

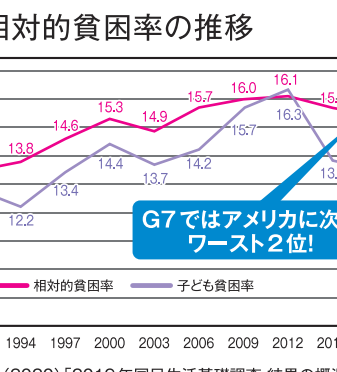
途上国に対して融資や技術協力を行う国際的な金融機関「世界銀行」では、1日当たり1.9ドルを国際貧困ラインに定め、それ以下で暮らす人を貧困層としています。食料や住まい、衣服など、最低限必要な生活物資を購入できる所得や支出水準に達していない状態を「絶対的貧困」といい、その数は南アジアやアフリカ地域などの途上国に集中しています。2015年のデータでは、絶対的貧困者は世界に7億人以上いるといわれ、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大によって、その数はさらに増えることが予測されています。

日本では、貧困は遠い話だと感じる方も多くかもしれません。しかし、近年の日本で大きな問題となっているのが「相対的貧困」です。相対的貧困とは、それぞれの国や地域の平均水準をもとに割り出されるもの。給与から税金や社会保険料を差し引いた、いわゆる手取り年収を世帯人数の平方根で割った「等価可処分所得」が、中央値の半分に満たない状態を表します。

絶対的貧困の状態は、十分な衣食住が得られないだけでなく、安全な水や電気、教育や医療など、生きていく上で欠かせないサービスが受けられないことも含まれます。SDGsでは、この問題を世界の問題とし、日本を含む先進国が国を超えて協力することが求められています。

実は、日本の相対的貧困率は2018年で15.4%。つまり、国民の6人に1人は貧困状態だといえます。「OECD対日経済審査報告書 2017年版」によると、この数値はG7の中でアメリカに次いだワースト2位。日本の相対的貧困率は、2000年代からOECDの平均値を上回っており、格差が拡大している状況が続いています。

例えば現在、インターネットを活用した遠隔医療や学校給食の提供、若者への職業訓練、貧困者向けの小口金融サービス(マイクロファイナンス)など、幅広い取り組みが多数行われています。そうした活動を行う団体や企業を応援したり、寄付をしたりすることも、私たち1人1人ができることの1つです。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは、持続可能な開発に向けて、2015年9月の国連サミットで採択された世界共通の目標で、17のゴールとその達成に向けた具体的な169のターゲットが示されています。岐阜県は2020年に、SDGs達成に向けて優れた取り組みをする「SDGs未来都市」に選定されました。

先人のグラフを見ると、相対的貧困状態にある18歳未満の子どもの貧困率は、2018年時点で13.5%。これは、約7人に1人が貧困状態であることを意味します。

さらにコロナ禍が長引く今、親の失業などによって生活が困難となる子どもが増えている現状もあります。そうした中、近年では無料または低価格で食事を提供する「子ども食堂」や、教育格差を防ぐ学習支援などの動きも広がっています。また、経済的な理由で生理用品を購入できない女性や女の子がいるという「生理の貧困」も、新たな貧困問題として浮かび上がっており、生理用品の無料配布などの取り組みも進められています。

相対的貧困は表面化しづらい、支援の手が届きにくいという課題があります。持続可能な社会を実現するために、すべての人がこの問題に目を向ける必要があります。

コロナ禍でさまざまな貧困問題が表面化

社会保険労務士 加藤一正事務所

岐阜県JAグループ

岐阜信用金庫

株式会社 三光堂

十六銀行

サンメッセ株式会社

一生涯のパートナー 第一生命 Dai-ichi Life Group

花キューピット 岐阜支部

リード[lixd]進学塾 予備校

私たちは持続可能な開発目標SDGsを支援しています。

プロジェクト特設サイトオープン

最新事例を紹介

支援している企業の取り組み情報や活動事例の紹介はこちらから



取り組み企業、事例についてお寄せください。

SDGs岐阜推進プロジェクト事務局 中日アド企画 岐阜支社内 岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル7階 TEL.058-265-6281

※順不同